

家庭ごみの分別と減量に係るアンケート調査結果

令和5年12月
会津若松市 市民部 廃棄物対策課

本調査の結果を以下に示します。

1 実施期間

令和5年9月から10月まで

2 対象

会津若松市民

3 調査の結果

回答数 642件

(1) 一般 148件

(インターネット115件、市役所窓口9件、コミュニティセンター窓口24件)

(2) 町内会(区長) 433件/506件(回答率 85.6%)

(3) 市政モニター 61件/83件(回答率 73.5%)

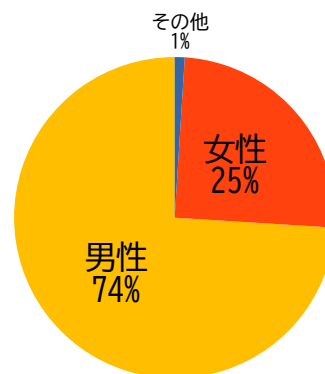
【あなたご自身と同居者】

あなたについて教えてください(項目ごとに○は1つ。同居者のみいくつでも)

ア 性自認を教えてください

(n=639)

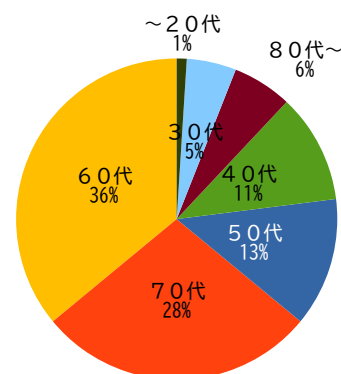
項目	回答数	%
1 男性	476	74%
2 女性	162	25%
3 その他	1	1%
	639	100%



イ 年齢を教えてください

(n=640)

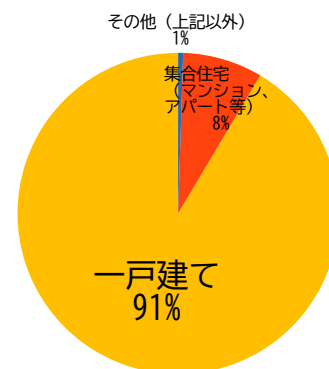
項目	回答数	%
1 60代	232	36%
2 70代	178	28%
3 50代	82	13%
4 40代	72	11%
5 80代~	36	6%
6 30代	33	5%
7 ~20代	7	1%
	640	100%



ウ 住居を教えてください

(n=634)

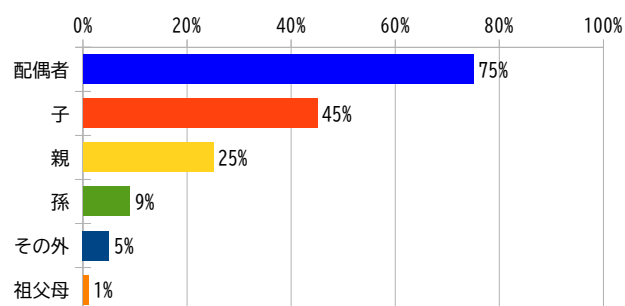
項目	回答数	%
1 一戸建て	577	91%
2 集合住宅 (マンション、アパート等)	54	8%
3 その他(上記以外)	3	1%
	634	100%



エ 同居者をすべて教えてください

(n=642)

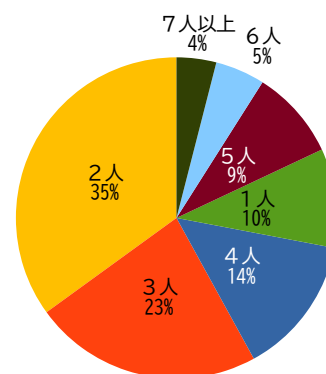
項目	回答数	%
1 配偶者	480	75%
2 子	290	45%
3 親	160	25%
4 孫	58	9%
5 その他	30	5%
6 祖父母	9	1%



オ 居住人数を教えてください

(n=635)

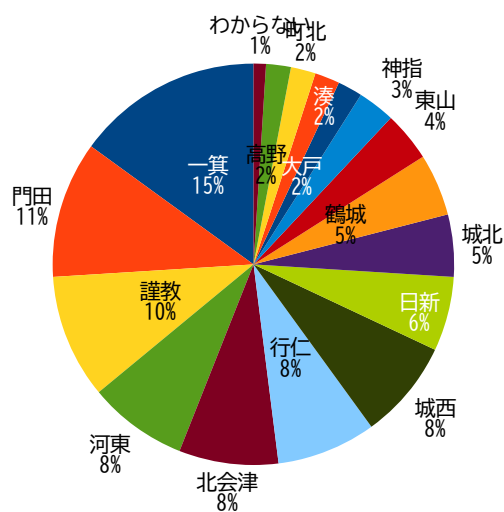
項目	回答数	%
1 2人	224	35%
2 3人	143	23%
3 4人	89	14%
4 1人	64	10%
5 5人	57	9%
6 6人	33	5%
7 7人以上	25	4%
	635	100%



カ 地区を教えてください

(n=642)

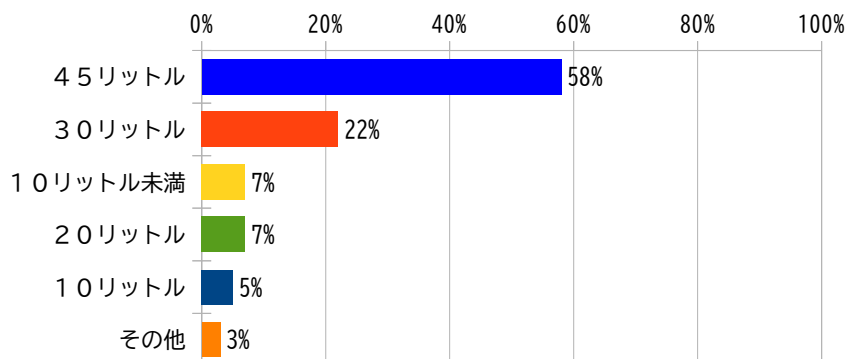
項目	回答数	%
1 一箕	91	15%
2 門田	69	11%
3 謹教	66	10%
4 河東	54	8%
5 北会津	53	8%
6 行仁	52	8%
7 城西	50	8%
8 日新	37	6%
9 城北	33	5%
10 鶴城	31	5%
11 東山	27	4%
12 神指	18	3%
13 大戸	16	2%
14 湊	16	2%
15 町北	12	2%
16 高野	11	2%
17 わからない	6	1%
	642	100%



キ 普段使用しているごみ袋のサイズを教えてください

(n=642)

項目	回答数	%
1 45リットル	374	58%
2 30リットル	141	22%
3 10リットル未満	44	7%
4 20リットル	42	7%
5 10リットル	31	5%
6 その他	19	3%

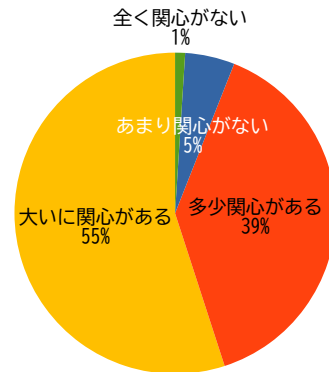


問1 ごみの分別と減量への関心（○は1つ）

「大いに関心がある」が55%で最も多くなっています。
次いで「多少関心がある」が39%となっています。

(n=641)

項目	回答数	%
1 大いに関心がある	353	55%
2 多少関心がある	251	39%
3 あまり関心がない	33	5%
4 全く関心がない	4	1%
	641	100%



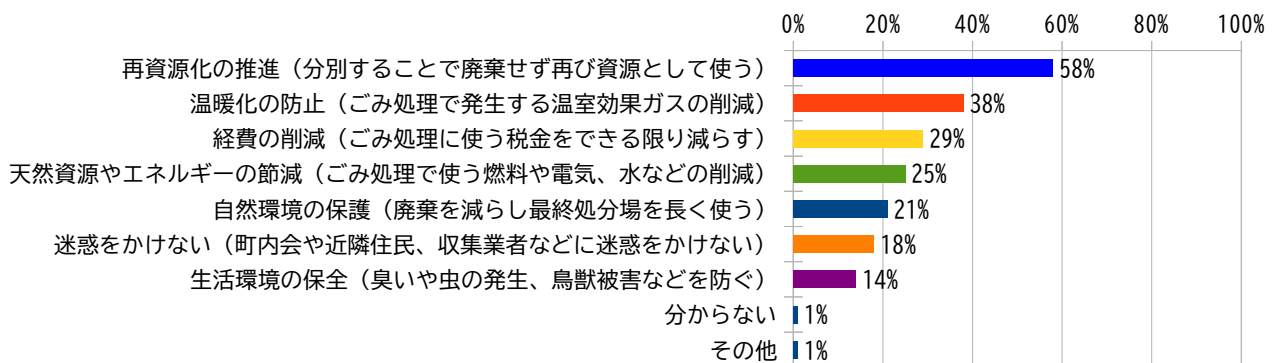
問2 ごみの分別と減量が必要な理由として重要だと思うこと（○は2つまで）

「再資源化の推進（分別することで廃棄せず再び資源として使う）」が58%で最も多くなっています。

次いで「温暖化の防止（ごみ処理で発生する温室効果ガスの削減）」が38%となっています。

(n=642)

No.	項目	回答数	%
3	再資源化の推進（分別することで廃棄せず再び資源として使う）	375	58%
1	温暖化の防止（ごみ処理で発生する温室効果ガスの削減）	242	38%
6	経費の削減（ごみ処理に使う税金をできる限り減らす）	187	29%
2	天然資源やエネルギーの節減（ごみ処理で使う燃料や電気、水などの削減）	159	25%
4	自然環境の保護（廃棄を減らし最終処分場を長く使う）	134	21%
7	迷惑をかけない（町内会や近隣住民、収集業者などに迷惑をかけない）	113	18%
5	生活環境の保全（臭いや虫の発生、鳥獣被害などを防ぐ）	87	14%
9	分からない	6	1%
8	その他	4	1%



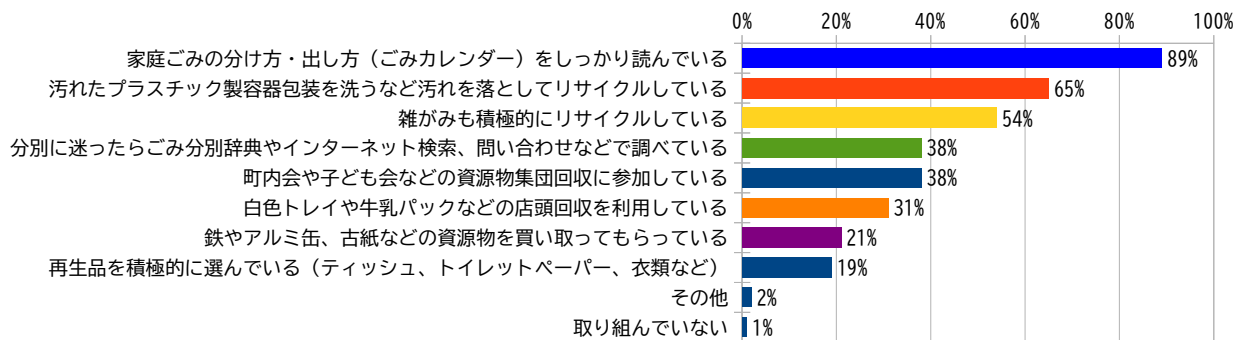
問3 家庭ごみの再資源化（リサイクル）で取り組んでいること（○はいくつでも）

「家庭ごみの分け方・出し方（ごみカレンダー）をしっかりと読んでいる」が89%で最も多くなっています。

次いで「汚れたプラスチック製容器包装を洗うなど汚れを落としてリサイクルしている」が65%となっています。

(n=642)

No.	項目	回答数	%
1	家庭ごみの分け方・出し方（ごみカレンダー）をしっかりと読んでいる	572	89%
7	汚れたプラスチック製容器包装を洗うなど汚れを落としてリサイクルしている	415	65%
8	雑がみも積極的にリサイクルしている	344	54%
2	分別に迷ったらごみ分別辞典やインターネット検索、問い合わせなどで調べている	246	38%
3	町内会や子ども会などの資源物集団回収に参加している	241	38%
4	白色トレイや牛乳パックなどの店頭回収を利用している	200	31%
5	鉄やアルミ缶、古紙などの資源物を買って取ってもらっている	136	21%
6	再生品を積極的に選んでいる（ティッシュ、トイレトペーパー、衣類など）	125	19%
9	その他	11	2%
10	取り組んでいない	6	1%



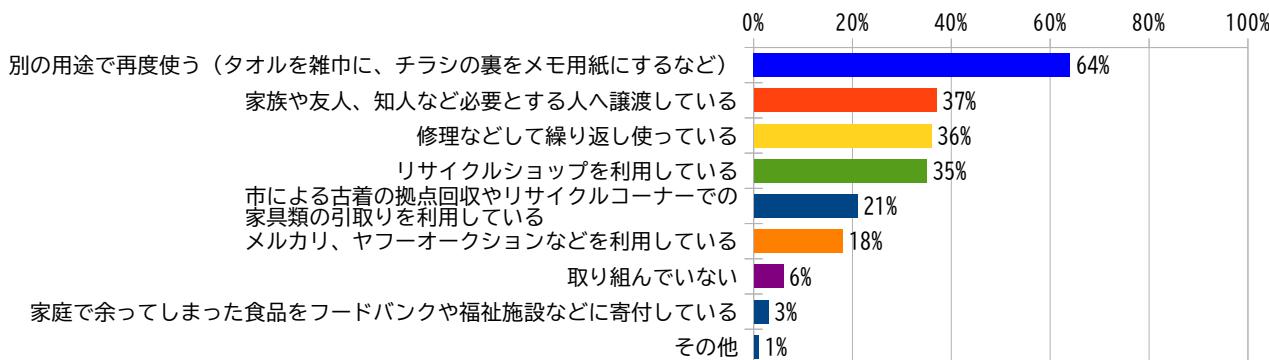
問4 再使用（リユース）で取り組んでいること（○はいくつでも）

「別の用途で再度使う（タオルを雑巾に、チラシの裏をメモ用紙にするなど）」が64%で最も多くなっています。

次いで「家族や友人、知人など必要とする人へ譲渡している」が37%となっています。

(n=642)

No.	項目	回答数	%
6	別の用途で再度使う（タオルを雑巾に、チラシの裏をメモ用紙にするなど）	408	64%
4	家族や友人、知人など必要とする人へ譲渡している	235	37%
5	修理などして繰り返し使っている	234	36%
2	リサイクルショップを利用している	224	35%
1	市による古着の拠点回収やリサイクルコーナーでの家具類の引取りを利用している	138	21%
3	メルカリ、ヤフーオークションなどを利用している	115	18%
9	取り組んでいない	36	6%
7	家庭で余ってしまった食品をフードバンクや福祉施設などに寄付している	17	3%
8	その他	4	1%

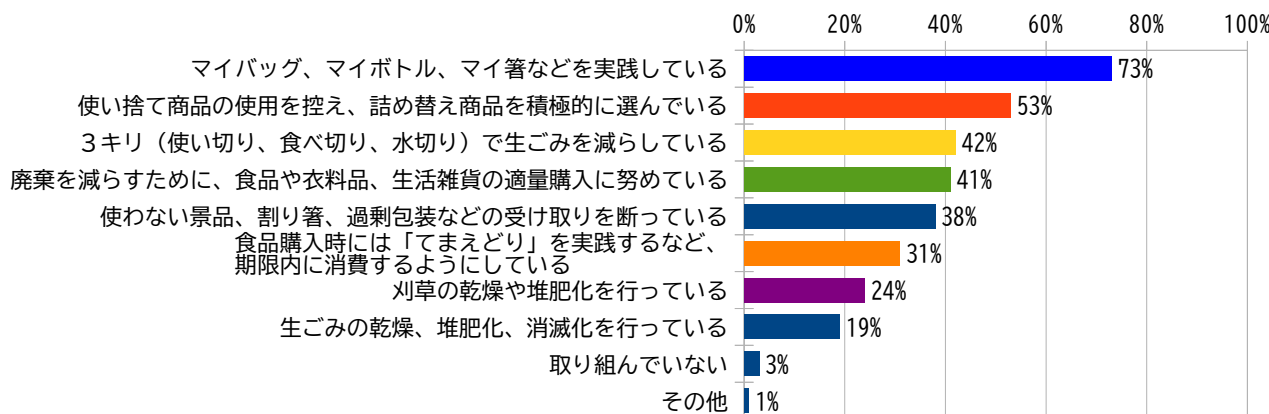


問5 家庭ごみの発生抑制（リデュース）で取り組んでいること（○はいくつでも）

「マイバッグ、マイボトル、マイ箸などを実践している」が73%で最も多くなっています。次いで「使い捨て商品の使用を控え、詰め替え商品を積極的に選んでいる」が53%となっています。

(n=642)

No.	項目	回答数	%
1	マイバッグ、マイボトル、マイ箸などを実践している	471	73%
3	使い捨て商品の使用を控え、詰め替え商品を積極的に選んでいる	342	53%
6	3キリ（使い切り、食べ切り、水切り）で生ごみを減らしている	267	42%
4	廃棄を減らすために、食品や衣料品、生活雑貨の適量購入に努めている	266	41%
2	使わない景品、割り箸、過剰包装などの受け取りを断っている	243	38%
5	食品購入時には「てまえどり」を実践するなど、期限内に消費するようにしている	198	31%
8	刈草の乾燥や堆肥化を行っている	153	24%
7	生ごみの乾燥、堆肥化、消滅化を行っている	119	19%
10	取り組んでいない	18	3%
9	その他	5	1%



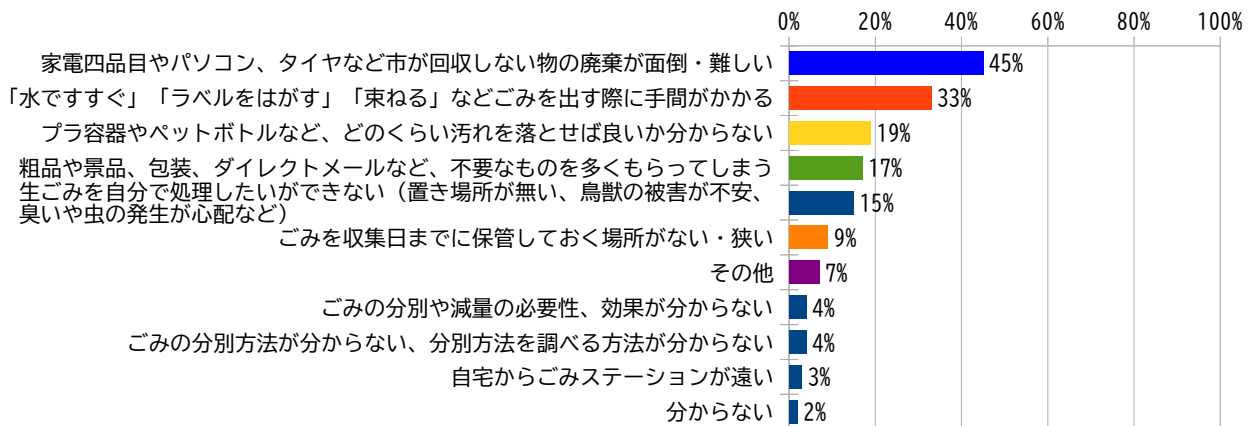
問6 ごみの分別や減量で困っていること (○はいくつでも)

「家電四品目やパソコン、タイヤなど市が回収しない物の廃棄が面倒・難しい」が45%で最も多くなっています。

次いで「水ですすぐ」「ラベルをはがす」「束ねる」などごみを出す際に手間がかかる」が33%となっています。

(n=642)

No.	項目	回答数	%
9	家電四品目やパソコン、タイヤなど市が回収しない物の廃棄が面倒・難しい	292	45%
3	「水ですすぐ」「ラベルをはがす」「束ねる」などごみを出す際に手間がかかる	214	33%
4	プラ容器やペットボトルなど、どのくらい汚れを落とせば良いか分からない	122	19%
8	粗品や景品、包装、ダイレクトメールなど、不要なものを多くもらってしまう	111	17%
7	生ごみを自分で処理したいができない(置き場所が無い、鳥獣の被害が不安、臭いや虫の発生が心配など)	99	15%
5	ごみを収集日までに保管しておく場所がない・狭い	60	9%
10	その他	45	7%
2	ごみの分別や減量の必要性、効果が分からない	27	4%
1	ごみの分別方法が分からない、分別方法を調べる方法が分からない	26	4%
6	自宅からゴミステーションが遠い	19	3%
11	分からない	11	2%



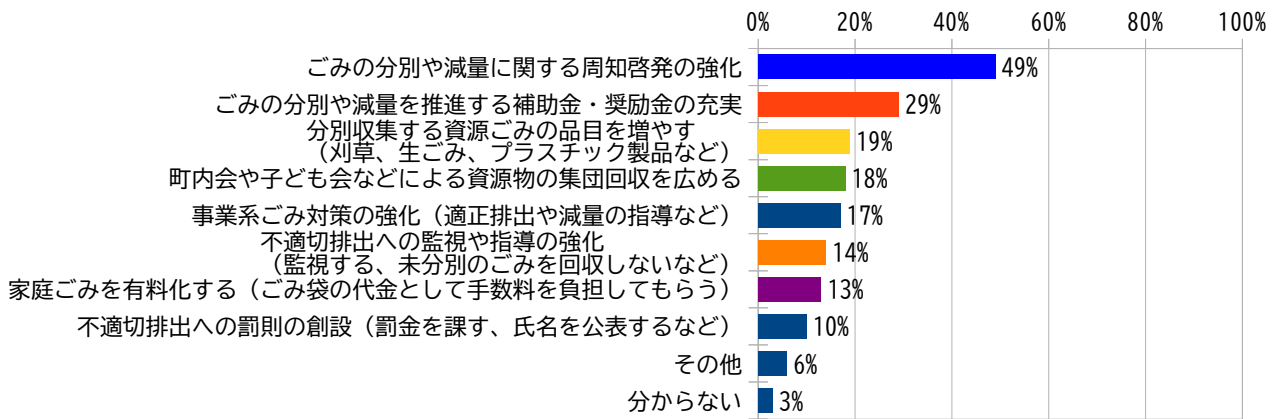
問7 ごみの分別と減量を推進するために本市に必要な取組 (○は2つまで)

「ごみの分別や減量に関する周知啓発の強化」が49%で最も多くなっています。

次いで「ごみの分別や減量を推進する補助金・奨励金の充実」が29%となっています。

(n=642)

No.	項目	回答数	%
1	ごみの分別や減量に関する周知啓発の強化	313	49%
2	ごみの分別や減量を推進する補助金・奨励金の充実	184	29%
4	分別収集する資源ごみの品目を増やす(刈草、生ごみ、プラスチック製品など)	119	19%
3	町内会や子ども会などによる資源物の集団回収を広める	116	18%
8	事業系ごみ対策の強化(適正排出や減量の指導など)	108	17%
5	不適切排出への監視や指導の強化(監視する、未分別のごみを回収しないなど)	93	14%
7	家庭ごみを有料化する(ごみ袋の代金として手数料を負担してもらう)	85	13%
6	不適切排出への罰則の創設(罰金を課す、氏名を公表するなど)	63	10%
9	その他	39	6%
10	分からない	20	3%

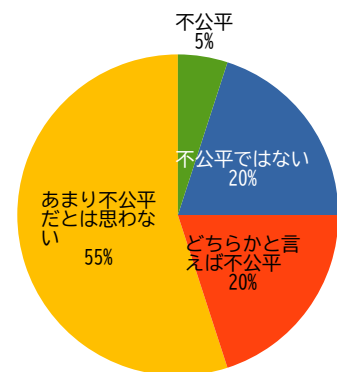


問8 現在、ごみを出す量に関わらず住民の負担に差がありませんが、このことについてどう思いますか (○は1つ)

「あまり不公平だとは思わない」が55%で最も多くなっています。
次いで「どちらかと言えば不公平」と「不公平ではない」が20%となっています。

(n=618)

No.	項目	回答数	%
3	あまり不公平だとは思わない	339	55%
2	どちらかと言えば不公平	125	20%
4	不公平ではない	124	20%
1	不公平	30	5%
		618	100%



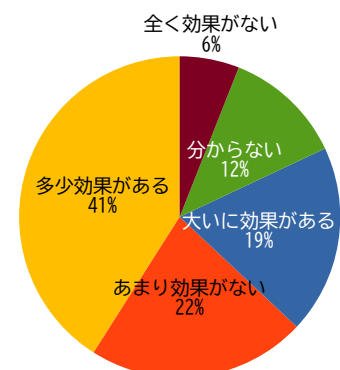
問9 国は、「家庭ごみの有料化※」が、ごみの排出抑制、再資源化、費用負担の公平化などに効果があるとしています。この制度についてどう思いますか (○は1つ)

※ 一般的に、市町村が指定するごみ袋等を購入することでごみ処理手数料を負担する仕組みで、指定ごみ袋等を使ってごみを出すこととなります。令和元年度末では全国の63%、県内の46%の市町村が導入しています。

「多少効果がある」が41%で最も多くなっています。
次いで「あまり効果がない」が22%となっています。

(n=627)

No.	項目	回答数	%
2	多少効果がある	257	41%
3	あまり効果がない	136	22%
1	大いに効果がある	116	19%
5	分からない	77	12%
4	全く効果がない	41	6%
		627	100%



問10 家庭ごみの有料化を導入した自治体では、その手数料を様々な事業に活用していますが、どのような事業に活用することが良いと考えますか（○は2つまで）

「ごみ処理施設の整備や償還」が43%で最も多くなっています。

次いで「ごみの分別と減量を推進するための事業や補助金」が33%となっています。

(n=642)

No.	項目	回答数	%
6	ごみ処理施設の整備や償還	277	43%
2	ごみの分別と減量を推進するための事業や補助金	209	33%
4	ルール違反のごみ出しや不法投棄への対策	150	23%
1	ごみの分別と減量を周知啓発するための広報	139	22%
7	脱炭素や自然保護などの環境施策	120	19%
5	有料化で影響を受ける方への支援	84	13%
3	資源化品目を増やすための経費	80	12%
8	その他	27	4%

